

## サイトメトリー技術者認定試験 合格体験記

水谷 信介

この度は合格体験記の執筆の機会を戴き、日本サイトメトリー学会の関係者の方々に深謝申し上げます。

私は普段は血液内科医として、主に白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群などの造血器悪性腫瘍や、時に再生不良性貧血、発作性夜間ヘモグロビン尿症などの骨髄不全症の患者さんの診察、治療を行っております。当然これらの疾患の診断の際にフローサイトメトリーは必須のものです。また大学院生から始めた基礎研究においても、当初はマウスの検体でしたが、フローサイトメトリーでの解析を行っていたこともあり、臨床、研究の両方で非常に馴染み深い技術でした。しかしながら基本的には独学で学んだ技術であり、体系だった学習をしてみたいと思っていたところ、本学会の技術者講習並びに技術者認定というものがあるのを知り、今回参加、挑戦してみました。また本学会の会長であられる稲葉亨先生は、当院の臨床検査部長であると同時にフローサイトメトリーのエキスパートでもあり、いつも懇切丁寧にご指導戴いていることも受講のきっかけとなりました。

受験対策としては、推奨されております「スタンダードフローサイトメトリー第2版」と「Medical Technology誌Vol.32より、チャレンジ認定試験」を事前に熟読し、あとは当日の技術者講習を集中して受講しました（特に強調されていたポイントを中心に）。朝から夕方までの長丁場なので、遠方からお越しの方も多数おられると思いますので、体調管理をしっかりと行ってください。本番の問題は選択形式で、時間は十分にあると思いますが結構難しく感じましたので、できる問題から進めていくことをお勧めします。

今回幸い合格を戴くことができましたが、今後も引き続き勉強していきたいと思っております。また講習の内容は非常にレベルが高く、今後も見返しながら参考にさせて戴くと思っております。皆様の合格をお祈りしております。